

はりけたくんガイドブックの訂正事項

訂正日：2013. 1. 20

P31

No28 胴差しD（胴差し上部柱のシートで検討）の検討結果記載の中で、耐力壁の反力の計算を、次のように記載しています。

$$\begin{aligned} \text{反力} &= \text{壁倍率} \times 1.96\text{KN/m} \times \text{壁長さ} \times \text{壁高さ} / \text{壁高さ} \\ &= 2.5\text{倍} \times 1960\text{N/m} \times 0.91\text{m} \times 2.5\text{m} / 2.5\text{m} \\ &= 4459\text{N} \end{aligned}$$

これは誤りで、下記が正しいです。

$$\begin{aligned} \text{反力} &= \text{壁倍率} \times 1.96\text{KN/m} \times \text{壁長さ} \times \text{壁高さ} / \text{壁長さ} \\ &= 2.5\text{倍} \times 1960\text{N/m} \times 0.91\text{m} \times 2.5\text{m} / 0.91\text{m} \\ &= 12250\text{N} \end{aligned}$$

これにより、胴差しの断面は、すぎ2級：105 x 210から105 x 300になり、材料単価は¥7,500から¥12,600になります。

はりけたくん検討結果一覧図 (2階床伏図)

29 床梁H	軒桁跳ね出し 床梁上部壁
すぎ2級: 105x150	
2つのモデルで検討	
$ab(233/731)$ $377/1260(144/529)$	
底部分の検討用 床部分の検討用	

31 母屋	母屋跳ね出し
すぎ2級: 105x135	
a(437/1480)	
負担幅=910	
X3 X6	

30 母屋	軒桁跳ね出し
すぎ2級: 105x135	
a(458/1553)	
負担幅=955	
X3 X6	

固定荷重入力シートの天井仕上げは、軒桁仕上げと荷重が近い仕上げを”天井2”に設定しておく。

32 床梁J	床梁跳ね出しバルコニー
すぎ2級: 105x240	
支点bは、Y6通りではなくY5通りとして扱う	
固定荷重入力シートのバルコニー床仕上げの頂で、居室床荷重にできるだけ近い荷重になるように仕上げを選択する。	
バルコニー手摺壁仕上げを外壁仕上げの荷重とできるだけ近い荷重になるように仕上げを選択する。	

33 床梁I	床梁跳ね出しバルコニー
すぎ2級: 105x300	
固定荷重入力シートのバルコニー床仕上げの頂で、居室床荷重にできるだけ近い荷重になるように仕上げを選択する。	
バルコニー手摺壁仕上げを外壁仕上げの荷重とできるだけ近い荷重になるように仕上げを選択する。	
梁負担幅は、外壁幅の算定に用いられている為、便宜上床の負担幅ではなく外壁長さを選択する。 床負担幅=455 外壁幅=1365+455 1820を採用	
梁負担幅=910 ※詳しくは、適正化の処置の解説を参照。	

19 床梁A	床梁上部壁
すぎ2級: 105x240	
間仕切り壁は無いので、間仕切り壁=0とする	

18 床梁	床梁上部壁
すぎ2級: 105x150	
ab(558/558)	
間仕切り壁の荷重を負担反力の算定の為、検討。	

20 床梁B	床梁上部壁
すぎ2級: 105x210	
a(4632/5865) b(3738/4149)	
1788/3432(558/558)	

21 胴差しA	胴差し梁受け
すぎ2級: 105x180 → 105x240	
支持する床梁の梁せいよりもワンサイズアップ	

22 床梁C	床梁上部壁
すぎ2級: 105x240	
ab(233/731) ab(233/731) ab(233/731) ab(558/558)	

23 床梁D	床梁上部壁
すぎ2級: 105x210	
907/1654(349/1096) (558/558)	

34 胴差しB	胴差し
すぎ2級: 105x300	
床負担幅=455とする	
X4 X8	
ウッドデッキ部分の屋根荷重を負担する為、床負担幅=455とする	

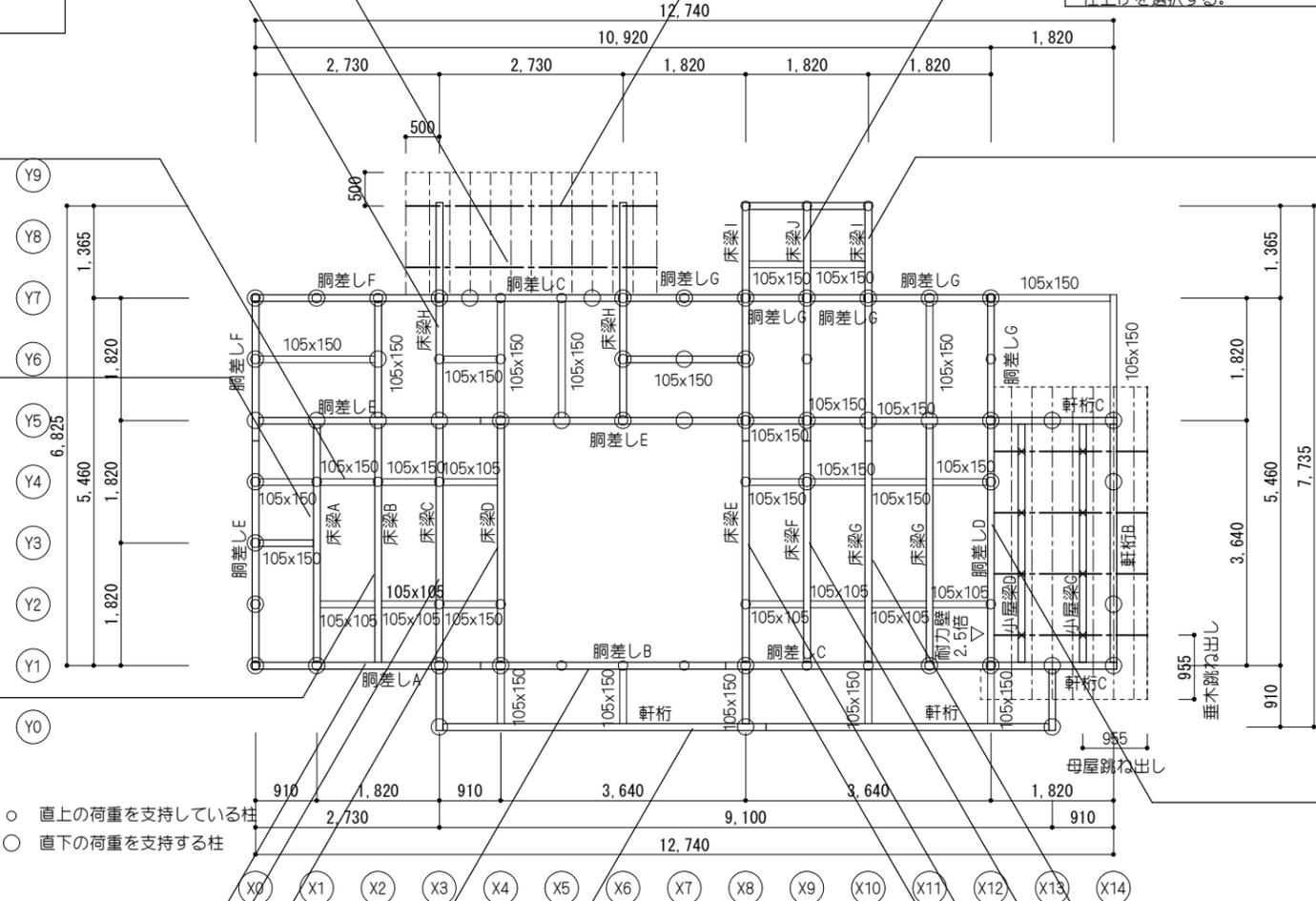
35 軒桁	軒桁
すぎ2級: 105x150	
X3 X8	

27 胴差しC	胴差し上部柱
すぎ2級: 105x270	
(2469/2469) (3291/3291)	
X8 X11	
ウッドデッキ部分の屋根荷重を負担する為、床負担幅=455とする	

25 床梁F	床梁
すぎ2級: 105x150	
ab(2469/2469)	

26 床梁G	床梁
すぎ2級: 105x150	
ab(3291/3291)	

24 床梁E	床梁上部壁
すぎ2級: 105x210	
ab(233/731) (93/342) ab(233/731) (144/529)	
Y5 Y1	



- 直上の荷重を支持している柱
- 直下の荷重を支持する柱

28 胴差しD	胴差し上部柱
すぎ2級: 105x300	
外壁の高さ=2500 ガラス部分=900 便宜上ガラスの最高高さを使用(安全側) =3400mm	
短期 耐力壁の反力 壁倍率2.5倍 反力=壁倍率x1.96kN/mx壁長さx壁高さ/壁長さ =2.5倍x1960N/mx0.91mx2.5m/0.91m =12250N	

